常磐毎日新聞

日刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料　普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　福島縣石城郡平町長橋町三五　坂本忠治
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社　（振替口座）東京　四〇二一〇番

八日　夕刊

天氣豫報

今晩は北西の風　晴
明日は北西の風　晴

悪性の流感
正月に入つて激甚
乳幼兒は肺炎を併發する
快晴續きで空氣が乾燥

平地方は冬期に珍らしく快晴續きで空氣が乾燥し切つてゐるところから悪性の流感が續發、正月に入つて益々乳幼兒の罹病者も增加して殊に肺炎を併發して重態に陷る危險性を多分に含むでゐるところから町内各小學校では八日の始業式に注意書を配布、極力豫防方法を講ずることになつた

暖さが續いて 農作物不安
郡農會が警告
害虫の發生に一苦勞

既に寒入りの平地方は小春日和の溫かさに湯の嶽山上の雪もまばらである……最近の溫暖な氣候で最も憂慮されてゐるのは稻作の螟虫、果樹類のあぶら虫の發生でこれは卵のまゝ冬を越せば大した害がないが、幼虫又は成虫で冬を越すときには極めて被害が大きなものとなる、しかし今後溫度が平年程度に低下してくれば問題はないのであるが今後この暖かさが持續すると恐るべきものがあるまた雪が少いため春になつて水不足を來す恐れがあり、現に麥作は現在でも多少旱害のきらひがありまた溫度の異常な上昇に徒長するきらひがあるためその後の寒害が恐れられてゐるので郡農會は近く警告を發する由

昨日の書初展
精魂傾けた少年書家達
顔も手足も草紙代り
出來榮え大人も吃驚

浪越及び眞猾兩書道會平支部主催の書初展覽會は既報の如く昨日午前八時からマルトモ樓上に開かれた、百餘名の少年少女に一般の大人も加はつて場内には芳墨の香溢れ豫期以上の盛況で書道勃興の氣運を充分に背かせた中には顔や手足を草紙代りに眞ッ黑に塗りたくつた少年書家もあつて春らしい笑ひの渦を危いたが流石に高雅な斯道に日夜精進する丈あつて子供ながらに一種の氣品と落ち着きを見せ正午頃迄には夫々精魂傾けて書き上げた力作を壁間隈なく貼出

審査員の穴井磐女教諭、熊谷第二訓導、夫れに今度も泰東書道展に入選した平書道界の驍將佐々木秋柔氏、主催者の支部長辻柔月氏等が場内を堂々巡りして嚴密な審査に當り左記の如く入賞者を決定したが穴井教諭は『どれにも夫々の[illegible]味が[illegible]て捨て難し審査に骨が折れました』と語つて居た

▲尋一（天）小野武子（地）山田文子（人）芹澤美佐子（佳作）阿部トモ子　▲尋二（天）宮川幸子（地）服部桂子（人）吉田綾子（佳作）齋藤英子　永山時子　▲尋三（天）山崎慶一（地）鈴木千代子（人）小野朝子（佳作）猪狩優子　橫山敬子　吉田普子　原キミ　根岸幹雄　▲尋四（天）千葉文彥（地）堀江和子（人）小野健次郎（佳作）鹽坂幸子　市原貞子　▲尋五（天）川崎織男（地）磯山一郎（人）藤居喜一郎（佳作）井坂京子　飯沼俊子　▲一般（天）鹽坂梅月（地）宮川芳子（人）加藤キヨ子（佳作）江川照子

郷土研究

石城郡に於ける寺院（一）

磐城高等女學校三年生調査
教諭　鈴木光四郎補正

長源寺　平町胡摩澤
曹洞宗　本山茨城縣結城町孝顯寺
開山　圓岩大佐禪師
檀家　舊十二戶新十七戶
寶物　鳥居元忠公畫像
緣起　慶長十六年徳川秀忠關原の役前伏見城に於て忠死せし鳥居彦右衛門元忠並に討死家臣五十六名の菩提を弔ふためその子平城主忠政に命じて平城中に長源寺を開創せしめ、黑印百石を附せり、家光の代に朱印地となれり。境内に鳥居元英公の墓あり、維新迄は同派の道場として盛觀なりしが今は一草場に過ぎず
住職栗山周耕師は鳥居二代の御廟所建立を發願して數年托鉢により獨力を以て建立を思企し貫主鈴木天山師、先師栗山泰晉師の激勵により淨財寄進を得んがため努力中なり

小島山性源寺　平町長橋町
曹洞宗　本山越前永平寺鶴見總持寺
開山　龍門寺四世桃殿壽見禪師
檀家　四百戶、本山參拜の報恩講あり。
寶物　壽見禪師直筆軸物
緣起　康正元年岩城忠治郎その生家佐竹の生父母の菩提を弔ふため黑印十石を寄進して建立す。寛永十年徳川家光公の時朱印に改まる。

松堂院　平町古鍛治町
曹洞宗　太源派　本山越前永平寺鶴見總持寺
開山　岩城左京大夫重隆
緣起　天文十二年岩城重隆その後室の死後その菩提を弔ふため別莊を改築して松堂院とせり、寛永十三年徳川家光より朱印を受く。

川島山棲岸院良善寺　平町古鍛治町
淨土宗白旗鎭西派　本山東京市芝增上寺
開山　與源大和尚、
檀家　百戶信龍講あり
寶物　安藤重長公信正公の畫像
緣起　元和七年安藤重信公上州高崎の城主にして公は深く佛門に歸依し菩提所として城下の川島に堂守を建立す。元德元年美濃國加納へ國替せられその時菩提所を彼地に移す。寶曆六年磐城平城へ移り菩提所を平町八幡小路へ移す。明治三年火災にかかり現今の古鍛治町へ移る。現地は元平城主内藤公の菩提所にして寺號を普昌寺と云ひしが普昌寺は九州延岡へ移れり。

涅槃山菩提院袋中寺　平町古鍛治町
淨土宗名越派如來寺末　本山　東京芝增上寺夏井村專稱寺
開山　袋中上人
檀家　四百戶　念佛講あり
緣起　當時は始め平城追手先に在りしが慶長七年平築城の折古鍛治町に移し、同十年二世良稔上人の折南町に移し、大正六年石城郡役所移轉に際しその敷地となり再び現地の地に移れり。袋中上人は岩岡磐崎村の生れにして西郷能滿寺に嗣法せり、近世朱印十石を附せられ近傍發展せしため菩提院町（現今の南町）と稱せしが明治三十九年大火災後南町と改稱す。境内に將軍地藏を安置せる二十三夜堂あり、三十三夜堂は地方隨一の道場にして緣日には賑ひを呈す。

國旗と提灯　平・四　スガノヤ　電九五

山村民喜ぶ
雪害應急助成

昨年度の雪害で徹底的に打ちのめされた石城郡下並全縣下山村に對する雪害應急炭窯復舊助成は縣で査定中であつたがこの程交附額決定、現に炭燒に從事中のものに對してのみ交附されるが郡下は（窯數）一五九（金額）一〇三〇圓七〇で二月初旬頃現金が交附されるため山村民の悅ば大きいものがある

就職希望兒童は
平紹介管内に三五三

今春小學校を巣立つ兒童中の就職希望兒は既報の如く平職業紹介所で引續き取纏め中であるが現在までの申込は平町内三小學校の外十五校で內譯は
男二三一名、女一二二名、計三五三名
の多數を數へてゐるため同紹介所では近づく卒業期を前に愈々これからが本格的斡旋を期すべく關係各方面と打合せを開始した

昨日の地震

昨七日午後三時十五分頃平地方を襲つた地震は相當猛烈であつたゝめ人々は戶外に飛び出す等不安にかられたが發震は同十二分三十秒三、初期微動繼續二十一秒一、總震動時十五分間、震幅二ミリ以上震源地は金華山の北東沖合で被害等は無かつたが昨年十一月三日の地震に次ぐ強震であつた

毆り付けた揚句
短刀で脅迫
けふ二名起訴

湯本町字三函瀨戶稔氏方雙葉郡大野村生れ土工泉田磐（三二）同所仙臺市地一番町生れ土工小畑正一（三七）の兩名は今八日平檢事局で櫻井檢事取調べの上『恐喝並に傷害罪』として起訴されたが兩名は去る[illegible]入吹料理店みどりや附近で第二磐炭坑夫我妻一郎君と些細な事から口論の末同僚大山辰太郎、石川歳男等と共に同人を取圍んで滅茶苦茶に毆打、頭部及び左眼瞼に全治二[illegible]間の[illegible]た揚句泉田は七首を突付け時計やオーバー等をはぎ取らうとしたが果さず現金五十錢を恐喝したものであると

眼病を苦に
看護婦が自殺

赤井村高荻運送殿之助長女狩野美代子（二二）は七日午後一時頃自宅奥座敷で多量の流行藥を嚥下、自殺を遂げてゐるのを家人が發見、平署で檢視したが同女は平町平產婆看護婦學校を卒業後、同派出婦會に入り派出看護婦として働くうち最近眼病を患ひ、四日歸宅自療中だつたもので、快癒のはか〴〵しくないのを悲觀強度の神經衰弱の結果死を選んだもの

小濱の築港
愈よ實現

植田町小濱港第二期工事は工費八萬圓で起工に決し內務省金澤技師一行が實地調査中のところ具体的實測修了愈々二月上旬から着工する事になり地元民を歡喜せしめてゐる

最後のゴール「三學期」に入る
けふ各學校の始業式

平町各中等學校及び各小學校の最後のゴール入りを決する第三學期は愈々今八日から一齊に開始された各校共に午前八時校舍內外の大掃除後始業式を擧行、校長並に各クラス擔任教師の訓話あり、磐中、平商は直ちに授業を開始したが磐女及び各小學校は明九日から本格的の授業を行ふ筈

古河炭礦俳句大會

好間古河炭礦從業員より成る茶ノ花吟社の新年俳句大會は來る十日午後五時から同村中島亭に開催されるが課題は『松過ぎ』『榾引』である

玉川農話會

玉川村農會主催農事講演會は十三日午前九時から同村

[illegible]演武場で[illegible]一般の[illegible]を歡迎する

磐中平商も十三日から

磐中及び平商の武道部寒稽古は來る十三日から各十日間開催される一般の參加も希望する由

紡績工場の
裁縫教師
目下募集中

平職業紹介所では目下神奈川縣川崎市富士ガス紡績工場の寄宿舍世話係兼裁縫教師を募集して居るが資格は高等女學校卒の年齡二十一、二歲三年以上勤め得るもので初日給九十錢保證人を要する

級長の任命

平第一、第二、第三の各小學校は今八日三學期開に於ける級長の選擧を行つたが任命式は第一が明九日第二、第三は來る十一日であると

磐女職員會

磐女は學期初めの今八日午前十時から職員會を開き今學期の行事に就いて協議した

培子書記白河へ

平區裁判所四倉出張所書記培子直治氏は昨七日附白河區裁判所に榮轉された

小學校で開く

郡醫師會 春期總會

石城郡醫師會春期總會は十日午後一時から平町常陽銀行樓上に開き濟生會醫師會、健康保險その他の事務報告を行つて後、議事々項
△會費增額の件△前幹部（酒井、松村、根本新妻の四醫師）記念品贈呈の件
を附議する

果樹發會式

上小川果樹組合發會式は二十日午後一時から郡農會背山技師出席して行はれる

四倉水道 起債許可

四倉町上水道敷設事業費起債は申請中だつたが七日附內務省から許可された
（十一年度）十一萬圓
（十二年度）三萬圓
（合計）十四萬圓

平町人事

回出生
△胡摩澤一二一當時內鄉村白水字滑井場一中村治作氏六女リイ子さん
△鎌田町二六鈴木壽雄氏長女弘子さん

田中判事
けふ挨拶廻

過般轉任された平區香西判事の後任田中宗雄氏は昨日平着午後六時二十二分で着任今八日各關係方面の挨拶廻りをした

平職業紹介所報告

回求人之部
△小使　二十才―三十才　迄日給七十錢　高卒
△女工　十四才―二十才　迄日給四十錢　尋卒
△探炭夫　十九才―四十才　迄日給一圓　尋卒
△〆粕人夫　二十才前後月給十圓―十五圓
△出前持　十五才―二十四才　迄給料面談　尋卒以上
回求職之部
△見習看護婦　二十才　高卒
△鐵工　十八才　尋卒

平署の寒稽古
本八日から

平署武道寒稽古は今八日から十日間（午後二時五

JOHK

今晩の部
▼後六、〇〇　幼兒童話「四つの椅子」オハナシクラブ
▼後六、二五　講演「一噓と法律」高柳賢三
▼[illegible]〇　趣[illegible]講演「瑞鳥を語る」鷹司信輔公
▼後八、〇〇　浪花節「寶說鳴門義人十郎兵衞」富士月子
▼後八、三五　新內「新口村」富士松東揚他
▼後九、〇〇　管絃樂「シューバートの未完成交響曲」日響
▼後九、三〇　時報　ニュース　明日の話題　番組豫告

明日の部
▼前一〇、三〇　家庭講座
▼[illegible]百日[illegible]に就て」[illegible]口喬
▼後二、〇〇　趣味講座「丑年に因む玩具の話」西川友武
▼後六、〇〇　郷土童謠　春吉コドモ會
▼後六、二五　講演「アメリカ在住の邦人とその子弟の教育」鈴木孝志
▼後七、三〇　放送文藝懸賞當選作發表の夕　1俳句　高濱虛子選評　2短歌朗詠　光田作治　3詩吟　吉村岳城　4箏曲　今井慶松他　5小唄　市丸
▼後九、〇〇　時事解說「英伊の協定並に世界の經濟」太田正孝

難波醫院
內科一般
醫學博士　難波陸
看護婦募集
平町大町新川端　電話五〇二番

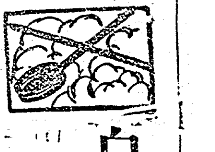
世界に誇る大發明！
S式高速度編物機
日本大婦人雜誌や專門家が筆と口を揃へて是れこそ理想的編物機と嵐の如き大賞讃
一臺金五圓九十錢也
御買上の方には責任を以つて教授致します
主婦の友・婦人公論
婦人俱樂部・婦女界
推奬
平町田町　ハシモトヤ糸店　電話一四番

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり

是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券質、物一般
三井質店
平四　電話六〇六番

內科 外科
一般
金成醫院
金成忠義
平町鎌田町電話三五八番

會員募集
年齡、學歷を問はず堅實なる婦人を望む、委細面談
平町紺屋町
上原家政婦會
電話二二番



白柄劍風連
大島多慶夫作
井川洗涯畫
[illegible]布施長春畫
[illegible]村瀨泰映畫

四辻（三）

偉人長兵衞は、

『元締の仰有る通りでござんす。まつたく[illegible]な奴らで……』

『俺が[illegible]だか[illegible]うかな』

『大抵は見當がつきませうな』

『どうせ。清兵衞と一緒に女に溺り溺れてゐる遊び人だらう。甲乙と幾造の三人、寄見の勝藏、四つ木の與吉。そんな仙人の馬鹿が荒しにゆくの賭場にかけてゐる手合に違ひあるまい』

『金的だ。元締。お藤さんの眼力。いや恐れ入りました』

『困つたか。はゝゝゝ。大體は判るもんだ』

と、長兵衞は[illegible]をさして[illegible]つて[illegible]好さ相だつたが

『しかし所詮、さういふものゝ世間體があるからな。身内のものとなつて居ればどんな奴でも打造つては置けないぞ。とにかく清兵衞は彼まで[illegible]んで來て、儀式だけは一通り濟まさせてやらなけりやならない。お前に一切のことは任せるから頼むよ』

『承知いたしました』

と、儀兵衞はしづかに立上らうとしたが、また膝を[illegible]て

『元締。清兵衞の始末はどういたしたものでござんせうな』

『さて』

と、長兵衞は腕を組んで考へ込んだ。

それは長兵衞の[illegible]の眼にして見ると、清兵衞のやうな質の好くない子分は、かうした機會に親分子分の盃を水にしてしまひたいのであるが清兵衞等一派は[illegible]長兵衞から引繼ぎの子分であるから、その人々を粗末にしたといふ非常の噂が仲間に擴がつては、町奴一統の仁義のうへから云つてもまた元締と云はれる身分の體面から云つてもあまり香ばしいことではないので、憎むといふほどではないが、輕々に扱ふことが出來ないと考へたのであつた。

『旦那。もし清兵衞が戻つて來たならば、俺が是非用があると云つてな。一度こゝへ通して貰ひたい。さうだつた。清兵衞の[illegible]りをしたのは金藏（長五郎）だから、金藏も呼びにやつて呉れ。金藏の居る所で清兵衞に云つてやらう』

『承知しましたが……元締。どうかまあ穩便な御處分をお願ひ申します。なるほど、清兵衞は身持は堅うござんすが、御[illegible]方には[illegible]受のいゝ男でた。つまりあの男のもつて生れた[illegible]と可笑味。それが又何かの役に立つときがあるかも知りませんでな』

『うむ。やくざな人間にも何か取得はあるものさ。清兵衞の身體に備はつて居る可笑味と、あれの[illegible]は惜しい樣な氣もする。まあ〳〵好いよ。決して酷いやうには扱はないよ』

『ぢや何分よろしくお願ひ申します』

と、儀兵衞は稍安心をしたやうに、かろく俯いてしづかに立去つた。

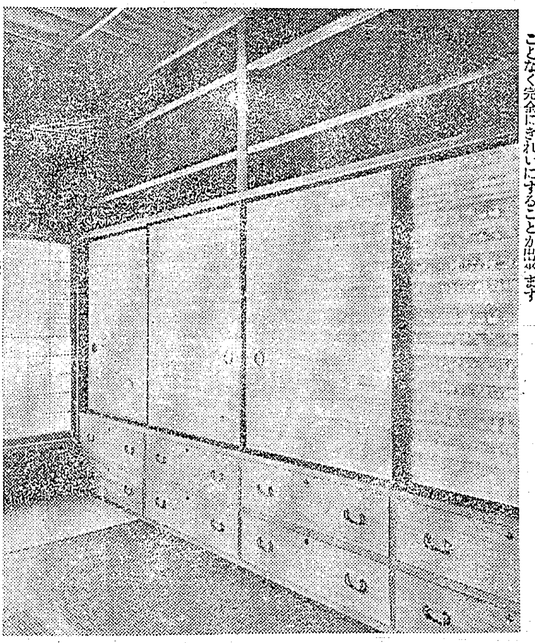
長兵衞は、床の間の[illegible]。[illegible]日頃から神様にして祀つてある『[illegible]』に對して、まことに申譯のないことを仕出來したやうな氣持で、しづかに[illegible]の[illegible]へ[illegible]つて[illegible]しく[illegible]した。

讀み落したら百年の悔！

どす黒く汚れた襖紙がさつぱり若返る

長年持て餘した家庭の難問題を解決した藥の拵へ方

ふすま紙（鳥の子紙或は宮布、その他すべての）や、耐水性を持たない壁紙等、毎日ハタキではたいて居ても細かい筋めや紙のキメの中のよごれは完全にとれないので相當の期間を經ればうす黒くよごれて來て、特に客先には氣になるものですが、といつて耐水性のものでないのでぬれ雜巾でふくと云ふことも出來ません、でそれには次の樣にするとすこしもふすま紙等をいためることなく完全にきれいにすることが出來ます



吸着劑の作り方

で、その吸着劑のこしらへ方ですが、まづ

大匙一杯の鹽、同じく大サジ一杯の石油、同じく二杯の酢、同二杯のアムモニア、コップ半分の微温湯をまぜた所へ、コップ一杯のうどん粉をすこしづゝいれながらまぜて、餘り強くない火で五分―七分位、丁度糊を煮る時の樣にかきまぜながら煮ますと、ドロ〱な半透明のものになります、これをしばらくさましますと、團子をこねる時のやうな堅さの塊狀吸着劑が出來ます

よごれの除り方は

これでよごれたふすま、或は壁紙の面を掃除してゆくわけですが、使用する時は、この塊を掌でふすまの面におしあてゝ上下左右にころがすやうにふいてすひとるのです、特によごれのひどい部分は消しゴムを使ふ時のやうに擦るとよろしい

この塊の化學作用

この塊の作用は、化學的には酢は塵埃中のアルカリ性のものをアムモニアは油分および酸性のものをのぞき、ウドン粉はよく藥劑をふくみ得るものであり、且つ吸着作用を持つので、これによつてこねた塊は機械的によごれを吸着するのです。石油は油性のよごれをとることもありますが、この場合にはむしろ鹽と同樣塊に適當の柔らかさを保たせてくれるのです、またこれには極く少量の水をくはへますが、使用する時には完全に塊の成分となりきつてゐるので水じみが出來ることは絶對にありません

襖の數と分量

なほこの吸着劑の塊は、こゝに述べた量では普通のふすま十六枚位使へますから、この割合で適當におつくりになつてもよいでせうし、塊に黑くよごれがついて來ても、まだ〱何回でも使用出來るものです

御存じ？

小豆類をおいしく煮るコツ　煮豆、または漉あんなどの時に一層よくする秘訣です。大豆をいつて、あらびきし、その粉を、一鍋に、一握りくらゐづゝ撒こんでつけるのです。是非おこゝろみください。

洗顔は―月に三回

一回はオイルシャンプーで簡單に出來る方法……

○…さむくなつてきますと、つい洗髮が面倒になりますが冬は寒さからくるノボセで雲脂が多くなり髮がよごれやすいのです。月に三回は洗髮しませう。そのうち一回はオイルシャンプーをしたいものです

○…洗髮する前日にオイルをすりこんでおく方が効果的ですが平素洋髮等の油氣のない髮になれてゐる方はベタ〱にした髮で起居することをきらはれるものです。そこでシャンプーをする直前にでもあたゝめた油を頭皮にすり込みましたら蒸しタオルで頭をつゝみすこしく蒸しますと油氣がよくしみこめかゆみさへ感じてきます

○…次にタオルを外してよく頭皮をもみます。それから洗髮をしますと非常に効果があります。脫毛のひどい方は洗髮後わすれずにベーラムの類をふりかけマッサージする事がよほど脫毛をふせぐ事になります

お醫者樣を迎へるまで

夜中突然の發熱これだけは心得べし

風がもとでおこつて來る乳幼兒の胃腸障害

◇…子供は一ど寢ついてからとか又は夜中に突然發熱する事が多い。ソンナ場合都會の人々でも大いにまごつくが、殊に郊外や田舎の家庭ではオイソレと醫者も呼べず、ヤキモキさせられることが多い

◇…また今年は長い暑さから急に寒さに入つたため例年になくカゼ引が流行し、幼兒には普通のカゼの症狀にともなつて胃腸障害をおこすものが多くみられる

◇…日本赤十字病院小兒科平野忠七博士に應急手當その他を聽く

今年のカゼはそれ程惡性のものではないから心配はいらないが、相當多くの患者を出してゐる。症狀としては一日二日は熱も出ず鼻汁をだし少々元氣がない狀態ですぎる。その後急に發熱して高いものは九度に達し、同時に吐氣を催し乳吞兒なら殆ど乳を飲ませても吐いてしまふ。吐氣を催すと必ずカツをおぼえるから幼兒は一層乳を欲するが

かういふ際には乳をやめて番茶を日本酒の色程度にうすめたものをあたへるとよい。よく砂糖水をあたへる人があるが胃中で醱酵するおそれがあるから感心せぬ

吐氣と同時に[illegible]痢が起る

青色の粘液のまじつた便となつて五六回もある樣になつたら手當をおこたつてはならない

…○…

まづ頭には少量の水をいれた水枕をさせる。生後間もない幼兒に餘りにつめたい氷枕や氷嚢を當てがふのは考へねばならない。強い冷たさのために腦に影響を來たし、急に熱が下つたりする事が往々ある。生後一年位の幼兒なら氷枕と氷のうを併用してもかまはない。吐氣が非道い時は氷をこまかくくだいた氷袋を胃のうへにおいてやる。これも不注意にやつてひやすべきでない、胃の方にずりおとさして吐氣がとまつたら外してもよい。乳をのんでしばらくして泣きだす幼兒はまづ腹が痛いものと見て差支ない

腹をあたゝめる時には乳幼兒は口が利けぬから十分な注意が必要である。懷爐で腹部を火傷させる例は非常に多い。最近は火を使用せぬ懷爐が出來てゐるから、乳幼兒にはこれを推奬したい

頻繁な下痢は

皮膚のやはらかい幼兒の肛門の周圍に炎症をおこさせる。從來のやうに粉をふるだけでなく、ワセリンをぬつたうへに粉をふるのがのぞましい

鼻汁を出したり咳をする場合、鼻カタルで鼻つまりをおこしたものには乳幼兒には強い藥は適さないから吸入をさせるのがよい。これだけの手あてをして醫者の指示に從へば、大抵二三日でなほるとみて差しつかへない

また近六歳位の子供が急に發熱する場合がある

夕方はすこし水鼻をたらしてゐる程度で夕飯も平常と變りなくすませ寢についてから深夜突然起上つて咽喉の奥から一種咳びのある犬のほえる際のやうな音

親はヂフテリヤと早合點して

大さわぎすることが多いが、ヂフテリヤがノドの奥ををかすのは稀であつて、この樣に急な場合は單なる咽頭カタルであるのがおほい。この樣な時、たしかめずにヂフテリヤの血清注射をするのはむだな事である

…○…

深夜で醫者のかんたんに呼べない時は、まづ子供のノドをみる。大きく口をひらかせ息を強く吸はせ、熱湯で消毒したサジの柄でごくかるく舌の付根をおさへてみれば子供をくるしませずにノドの奥が見える。この際白い附着物がたくさんあれば相當警戒しなければならない。吸入と濕布を行ひ、前記のごとく頭をひやして醫者を待つのがよい

原因不明の發熱の際はまづかん腸かヒマシ油をのませることが常識になつてゐるが、この際注意せねばならないのは盲腸炎である。盲腸炎にヒマシ油は絶對にさけるべきだから、ヒマシ油を飲ませる前に右の下腹のや下をおしてみて痛みを訴へる必要がある。こゝに痛みを訴へたらヒマシ油はまづやめるのが穩當

新女性べからず集

●●戀愛の卷●●

◎イジンを戀すべからず

だから、ダーキーのブロマイドなぞ、何枚ためてもおよそイミないです。同時に、シューベルトに扮するハンス●ヤーレイの寫眞を壁にはりんでも、貴女の自戀にならんです。いはんや、結婚にあらはれる不良外人を「いゝわねー」など〱思はれるなぞ、以てのほかです。ダンスなぞして一緒に行くでニヤーですぞ。どうも震災以來、あなたの戀愛眼力はくるつてゐます。同性愛は近親、國際愛は遠親のためです。遠からず近からずヤブにあらざる明眸を燃かしてください。

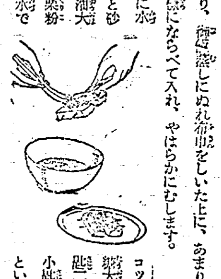
モチの[illegible]

お餅の榮養に富む事は、どなたも御承知のことですが、またお餅を戴くとお乳汁の出がよくなるとか、胃をあたゝめるとか、その效能も昔から稱へられて居ります。冬の夜長のお夜食に、またはお八つに種々にかはつた燒き方をするのも一興ではありませんか。

クシさしモチ

お餅を普通の切りモチの半分位の大きさに長細く切り、蒸籠に濡れ布巾をしいた上に、あまりくつつかない樣にならべて入れ、やはらかにむします。

一方鍋に水コップに三分の一と砂糖大匙一杯半、醬油大匙二杯を入れ、片栗粉小匙一杯を少量の水でといてくはへ、かきまぜながら煮てゐると、どろりとしたミツのやうなものになりますから火からおろし、むしたモチを二切づゝ竹串か、または黑もじの太いヤウジにさし、兩面へこのミツをぬつて頂きます。お八ツなどにもよろこばれます。



腹が立つ時の奥樣の心得

まことに恐れ入つたことです。淑女に向つて、無禮な言ひ條ではあるが、世の中には「淑一」といふこともあります。生涯に一度でも、腹を立てる場合があつたら、これを御覧ください。まんざら御損のゆくことばかりもあるまいと存じます

腹は立つともそれを根にもつ可からず

やむを得なくば、腹を立てるのも仕方があるまい。氣の晴れるまで、ぷん〱怒つて見るのもよいかもしれぬ。その場かぎりですめば、夏の雷のやうに、ガラ〱と鳴つて見るのも、罪にはならぬ。たゞ困るのは、一時の腹立ちまぎれのことが、いつまでも根にのこることなり。「奥樣におこられては、しかられるときはこはいが、あとが夕立あがりのやうにさらつとしてるから氣持がいゝ」などゝいふのは、跡のない怒り方といふもの旦那樣のなさり方で腹がたつても、そのときかぎりであつさりと「そんなことがありましたか」と、わすれてしまへるのなら大したもの。梅雨空のやうに、晴れることを知らぬ立腹や、蛇のやうに執念ぶかい怒り方では、御主人も周圍の人も全くやり切れたものにあらず。

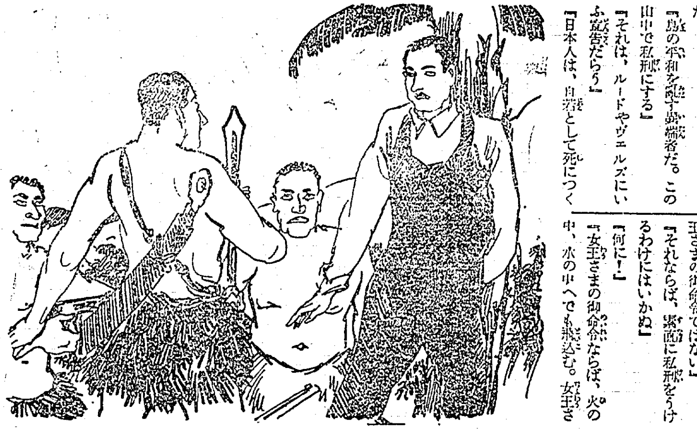
護れ太平洋の波

寺島柾史（作）

村潤一春映（畫）

……四八……

私刑 (五)



「えつ！」

栗飯原は、カルタイ靑年の鋭い眼をはなれ、木立を楯に、素手で身構へた。

「日本の勇士、このあたりの木立のかげに隱れてゐるのは、みんな文明の蠻人です。あなたの血を欲しがつてゐます。どうか、飛び出してください」

靑年の言葉は、いやにていねいだが、それだけに不氣味だつた。

「だまし打だな」

栗飯原は、青くなつて叫んだ。

カルタイ靑年は、劍を拔き放つた。

「島の平和を亂す異端者だ。この山中で私刑にする」

「それは、ルードやヴェルズにいふ言葉だらう」

「日本人は、自若として死につくといふではないか、潔よく私刑を受けろ」

「私刑をうけなければならぬ理由をいつてきかせろ」

そのまに、島民たちは、じりじりと近づいてくる。槍を、銃劍をつきつけたまゝぐるりと栗飯原を取卷いてしまつた。

「島の平和を亂す異端者だ」

「具體的にいつてみろ」

「この島では、異端者をその故國へは生還せしめない」

「だから、みんな島に働いてゐるではないか、故國へ歸ることをあきらめてゐる」

「ところが、おまへには不利なことが一つある」

「それがきゝたい」

「おまへは、女王さまに愛されてゐる」

「それが理由なのか」

「さうだ。女王さまを島の方へ騙つてゐるのはおまへだ。これは、島民全體に非常に惡い影響を及ぼしてゐる」

「………」

「で、本來ならば、おまへにこの島を退去してもらひたいのだが、異端者を島外に追放することは、[illegible]して出來ないことになつてゐるので、やむを得ず私刑に處する。たゞし、島民は、けつして、おまへの肉なぞ食べやしないから安心するがいゝ」

栗飯原は、眼を瞑つた。かなり長いあひだ物へ込んだ。

「覺悟はよいか」

靑年の聲に、はつとわれにかへつた。

「これは、女王さまの命令ではないだらうな」

ぐいと、カルタイ靑年を狙めつけた。

「もちろん、女王さまが、おまへに惚まされてゐられるからだ。女王さまの御命令ではない」

「それならば、素直に私刑をうけるわけにはいかぬ」

「何に！」

「女王さまの御命令ならば、火の中、水の中へでも飛込む。女王さまが死ねと仰しやるなら、よろこんで死ぬだらうが、おまへだちが勝手におれを殺さうといふのなら斷じて承服はできない」

栗飯原は、ぐいと、四邊をにらみつけた。

「槍をおそれぬか、銃が怖くはないか」

「射て！突け」

栗飯原は、胸をつき出し、兩手で叩いてみせた。どうせ殺されるのなら、男らしく、日本人らしいところをみせてやれと、彼は、胸をいくたびも叩いてみせた。

「おい、シマキ、射て」

カルタイ靑年は、シマキといふ島民に命じた。

シマキは、栗飯原を狙つた。引金を握らうとしたとき、隣にゐた男が、シマキの肘を小突いた。

「見ろ」

さゝやかれて、シマキは、ひとカルタイ靑年の背後に瞳をなげた。彼は、おどろいて銃をおろした。

「おい、シマキ、射て、な[illegible]ぬか」

カルタイは、

御贈答に……
鰹節
新發賣 貝燒罐詰
美味 鰹鹽から
干やなぎ
魚問屋
志賀盛榮商店
平町四丁目（電話二一三番）

梅毒と體毒
吹出物、腫物、高血壓、中風、眼病、神經痛……に
一日一回の服用で
安流丸
體內の毒氣が取れて眞から丈夫に！呑んで見て効き目に惚れる家傳藥
◇七日分一圓
平町田町
阿部藥舖

かまぼこ、お[illegible]、天保屋
…お惣菜用・さつま揚・吉原揚…
製造
平町一丁目 電話一四一番

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

外科
專門 X光線科
上田外科醫院
平町南町 電話一二九番

◎シモヤケ家傳藥◎
是れまでシモヤケは痒くならねば絶對に治らぬものと諦めて居つたのが一日二三回の御使用でクヅれたシモヤケも忘れた樣に完全に治ります是非一度御試し下さい保證致します
東京市丸井邦寶堂
福島茨城兩縣特約販賣 平町一丁目 伊藤石炭店 電話三四九
平町販賣店
長橋町 マスヤ商店 電話一七四
城山 鬼文堂書店
掘槌小路 平陽女學校前 助山ハキモノ店
月見町 山崎商店 電話四七七

モートル
變壓器
修理工場新設
優秀なる專門技術
完備せる試驗設備
合資會社 佐藤鐵工所
平町月見町（電話三六二番）

冬物は是非！當店から（在庫豊富）
平屋洋品店
平町田町通電話六五六番

耳鼻 咽喉 科專門
大和田醫院
平町南町一六（電話一七〇番）

おでん
呑兵衛
平町田町
末廣通錦水跡

開業
齒科一般
平町田町（安濟醫院向）
齋藤齒科
東京齒科醫學士 齋藤賢三

旅舘 大寿舘
私は平町出生ですから特に郷里の皆樣方の爲に御便利を圖ります
主人 比佐棟雄
東京上野驛前（下谷郵便局横通角）
電話下谷六七七番

お醬油は……ヤマフル
醬油 味噌
たひら正宗
鰹節食料品
醸造元
福島縣平町
鹽屋
電話一一〇 一二七番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

花柳病科 外科
木村外科醫院
平町六丁目橋際 電話三〇九